

令和元年度

第10回市政モニターアンケート

「防災ガイドブック・ハザードマップについて」

北九州市広報室広聴課

目 次

I 調査の概要.....	1
II 市政モニターの構成.....	1
III 調査結果.....	2
防災ガイドブックについて.....	2
ハザードマップについて.....	4
デジタル版ハザードマップについて.....	6
IV 全体考察.....	8

I 調査の概要

調査対象者	市政モニター 150人
回答者数	124人（回収率 82.7%）
調査実施日	令和元年10月24日～令和元年11月7日
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査
調査実施課	広報室広聴課 TEL 582-2527
調査依頼課	危機管理室危機管理課 TEL 582-2110

II 市政モニターの構成

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	68 (45.3%)	82 (54.7%)	区 別			
10歳代	3 (2.0%)	0 (0.0%)	3 (2.0%)	門司区	15 (10.0%)	5 (3.3%)	10 (6.7%)
20歳代	18 (12.0%)	9 (6.0%)	9 (6.0%)	小倉北区	28 (18.7%)	12 (8.0%)	16 (10.7%)
30歳代	18 (12.0%)	8 (5.3%)	10 (6.7%)	小倉南区	33 (22.0%)	16 (10.7%)	17 (11.3%)
40歳代	28 (18.7%)	12 (8.0%)	16 (10.7%)	若松区	12 (8.0%)	5 (3.3%)	7 (4.7%)
50歳代	23 (15.3%)	11 (7.3%)	12 (8.0%)	八幡東区	11 (7.3%)	6 (4.0%)	5 (3.3%)
60歳代	33 (22.0%)	15 (10.0%)	18 (12.0%)	八幡西区	40 (26.7%)	17 (11.3%)	23 (15.3%)
70歳以上	27 (18.0%)	13 (8.7%)	14 (9.3%)	戸畑区	11 (7.3%)	7 (4.7%)	4 (2.7%)

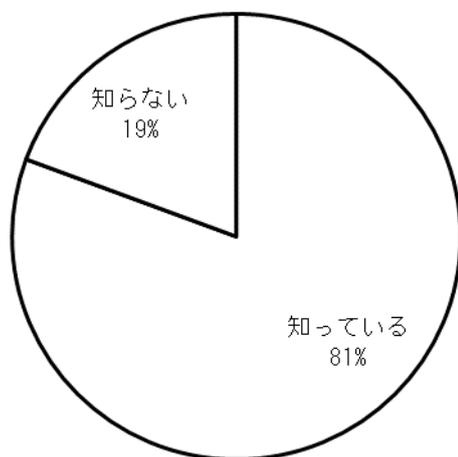
※モニター総数150名のうち郵送モニター67名、ネットモニター83名

※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

Ⅲ 調査結果

【防災ガイドブックについて】

問1 防災ガイドブックを知っていますか。

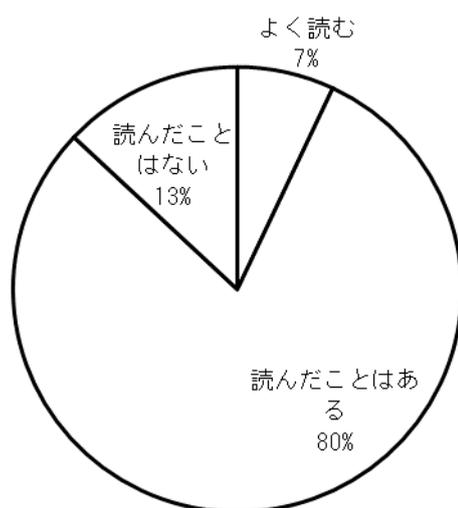


回答数 124人

知っている	100人(81%)
知らない	24人(19%)

問2 防災ガイドブックを読んだことがありますか。

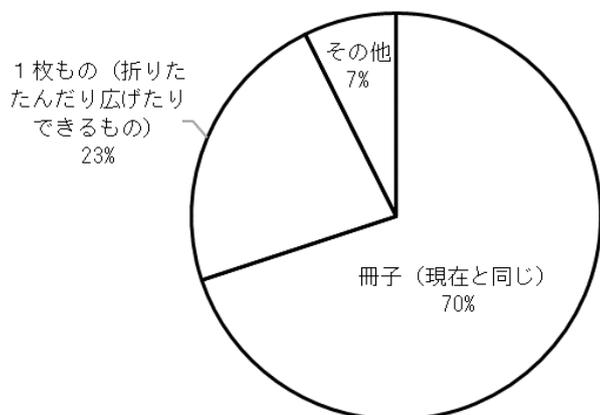
問1で「知っている」と答えた人のうち



回答数 100人

よく読む	7人(7%)
読んだことはある	80人(80%)
読んだことはない	13人(13%)

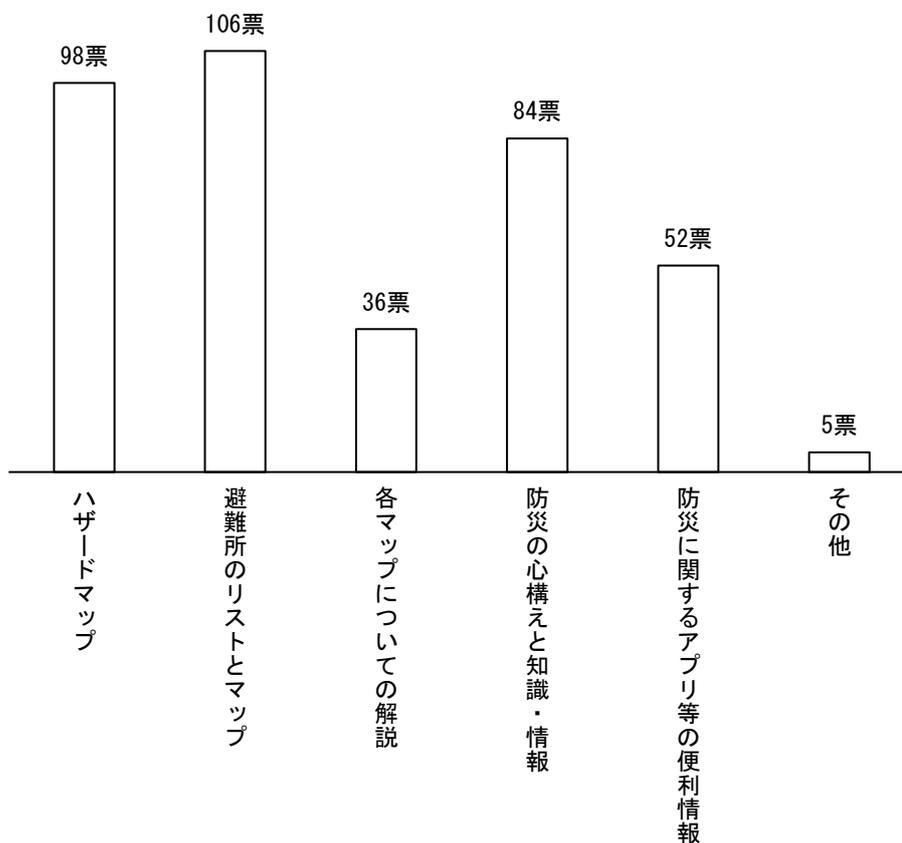
問3 現在の防災ガイドブックはA4サイズ(30cm×21cm)で50ページ程度の冊子ですが、次に作成するときにはどのような形が良いと思いますか。



回答数 1 2 3 人

冊子 (現在と同じ)	86人 (70%)
1枚もの (折りたたんだり広げたりできるもの)	28人 (23%)
その他	9人 (7%)

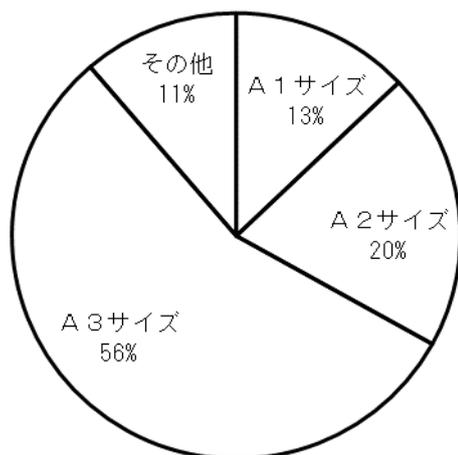
問4 防災ガイドブックに求める内容を次から選んでください。(複数回答)



【ハザードマップについて】

北九州市には土砂災害、洪水、津波のハザードマップがあります。
 (ハザードマップは自然災害のおそれのある地域にお住まいの方に配布しています。)

問5 配布するハザードマップの大きさはどの程度が良いと思いますか。

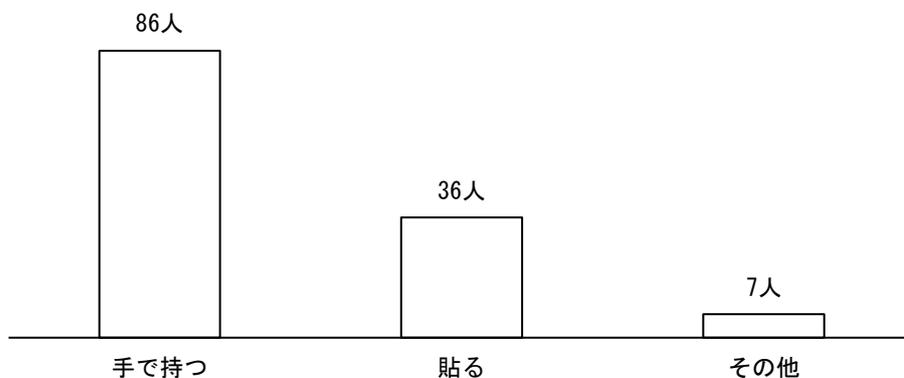


回答数 1 2 3 人

A 1 サイズ	16 人 (13%)
A 2 サイズ	25 人 (20%)
A 3 サイズ	69 人 (56%)
その他	13 人 (11%)

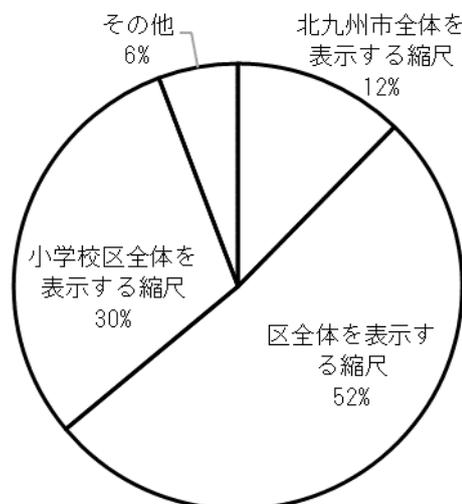
その他としてA 4サイズ、手のひらサイズという回答があった。

問6 問5の回答について、選択した理由を教えてください。(複数回答)



手で持って見ることを考えるとその大きさが便利	86 人
貼ることを考えるとその大きさが便利	36 人
その他	7 人

問7 ハザードマップの縮尺はどの程度が良いと思いますか。



回答数 1 2 3 人

北九州市全体を表示する縮尺	15 人 (12%)
区全体を表示する縮尺	63 人 (52%)
小学校区全体を表示する縮尺	37 人 (30%)
その他	7 人 (6%)

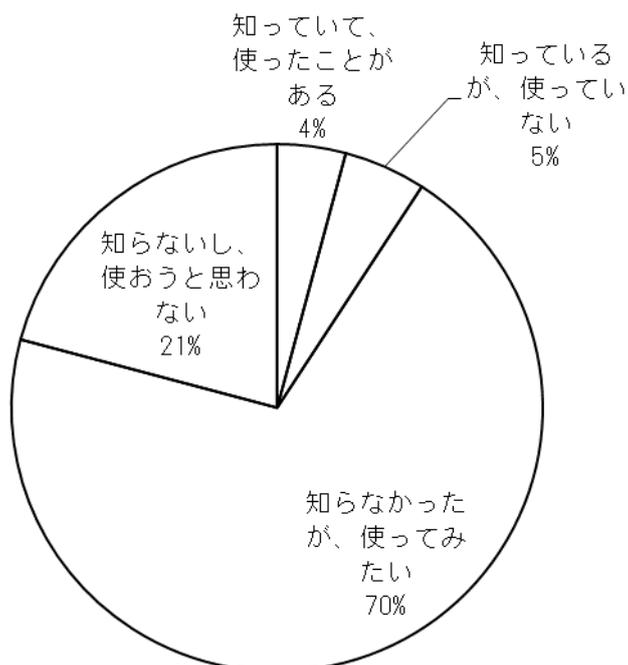
問8 現在のハザードマップに対するご意見や、北九州市が今後ハザードマップを作成するに際してご要望などがあれば教えてください(回答より抜粋)

- 知らない人が多いです。必要な情報なので、SNS・新聞などで、アピールをお願いします。
- 外国語対応してほしい。
- 今回の大水害でハザードマップが重要だと再確認をしました。
- デジタル版と連携できるようにしてほしい。
- ページ数が多くてしまいこみそうなので、貼るタイプで避難所や逃げる時の心構えや必需品などのチェックリストがあると落ち着いて行動できそう。
- 高齢者に分かりやすい表示をお願いします。

【デジタル版ハザードマップについて】

「地域情報ポータルサイト G-motty」には自治体の様々な地図情報が掲載されています。その中に「防災情報マップ」があり、各種ハザードマップや避難所マップを選択して見ることができます。紙の地図に比べて、重ね合わせる図を選べて自在に拡大表示できるという利点があります。

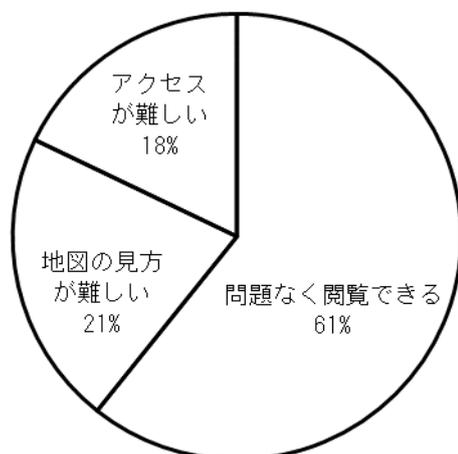
問9 「G-motty」を知っていましたか。



回答数120人

知っている、使ったことがある	5人(4%)
知っているが、使っていない	6人(5%)
知らなかったが、使ってみたい	84人(70%)
知らないし、使おうと思わない	25人(21%)

問 10 デジタル版ハザードマップについてあなたの状況に近いものを選んでください。



回答数 112 人

問題なく閲覧できる（地図のレイヤー選択までできる）	68 人 (61%)
防災情報マップまでは開けるが地図の見方が難しい	24 人 (21%)
防災情報マップへのアクセスが難しい	20 人 (18%)

問 11 最後に「防災ガイドブック」や「ハザードマップ」に関してご意見等ございましたらご記入ください。（回答より抜粋）

- 定期的に発行してほしい。
- スマホやパソコンなどが出来ない高齢者が判りよいように作成してほしい。
- 外国語対応してほしい。
- デジタル版ハザードマップについては今回のアンケートで初めて知りましたが、便利な機能だと思うので更に市民に広まるようにしてほしいと思いました。
- 防災ガイドブックの最終ページ、非常持ち出し品・備蓄品リストを見て、我が家は避難グッズを準備しました。
- 毎日のニュースでいつわがことに起こっても不思議ではない現実があるので、ガイドブックやハザードマップは有難い。想定外のことが起こっているのでハザードマップの更新はお願いしたいです。

IV 全体考察

北九州市危機管理室では「防災ガイドブック」及び各種「ハザードマップ」を作成している。今回は、今後の「防災ガイドブック」の改訂や新たなる「ハザードマップ」の作成の際の参考とするため、アンケートを実施した。

【防災ガイドブックについて】

防災ガイドブックの認知度は、約81%だった。

規格形式は、現在と同じ「冊子」が良いとする回答が約70%と多く、リーフレットのような「1枚もの」は約23%となっている。

複数回答方式だった防災ガイドブックに求める内容は、回答者数に対する割合で「避難所のリストとマップ」が約85%と最も多く、次いで「ハザードマップ」が約79%、「防災の心構えと知識・情報」が約68%と続いた。

【ハザードマップについて】

配布されるハザードマップの大きさはどの程度が良いかを質問したところ、現在と同じ「A3サイズ(420mm×297mm)」という回答が50%を超える結果となった。

ハザードマップの縮尺・表示する範囲は、現在の「小学校区全体を表示する縮尺」が約30%であるのに対し、「区全体を表示する縮尺」という回答が50%を超える結果となった。

【デジタル版ハザードマップについて】

デジタル版ハザードマップは、「知っている」が約9%と認知度が低かった。

「問題なく閲覧できる」状況である人が約61%となっている一方、「防災情報マップまでは開けるが地図の見方が難しい」(約21%)、「防災情報マップへのアクセスが難しい」(約18%)という回答が約40%を占めた。

デジタル版ハザードマップは、自在に拡大縮小できること、土砂災害警戒区域や河川洪水の浸水想定区域などの図を選んで重ね合わせられることなど、便利な機能を持っている。スマートフォン・パソコンなどでアクセスできるため利便性も高い。今後、さらなる周知宣伝が必要である。

以上の結果を参考に、よりよい「防災ガイドブック」や「ハザードマップ」の作成を検討していきたい。

また、自由記述の意見についても、あらゆる視点からの意見があり、今後の参考としたいと考えている。